（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートふれっぷ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月7日	～	令和7年3月21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	令和7年3月7日	～	令和7年3月21日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれのペースに合わせながら、小グループでの活動が出来る。	こども同士のやり取りを重視し取り組んでいる。 ルールの理解やマナーの習得、相手のペースに合わせて取り組むこと。	長期休業期間は、利用する曜日を固定せず、敢えて交流の少ない子との関わりを増やすことで、コミュニケーション力の成長を図る。
2	送迎や相談に応じて対応が出来る。	ご家族の就労、相談に応じて連携を取り、柔軟に取り組んでいる。	対面での相談に時間が取れない家庭には、メッセージアプリやオンライン会議などを活用し、家庭との連携を積極的に行う。

3	職員間でのフォローや共有がスムーズにできる。	職員数が少ない事や、小グループでの活動を通して、情報共有を行っている。隙間時間に、報告、連絡、相談を行っている。	アプリなどを導入し、時間や場所にとらわれない情報共有を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の問題	建物の老朽化。 一般住宅なので、バリアフリーではない。	場所の移転。 パーテーションはあるが使いずらさがある。
2	個別対応による収入の低さ	個別、小グループでの活動を主に行っていたが１日の受入れ人数が多くない為収入面が課題。	個別ではなく、小グループでの活動を行い１日定員いっぱい入れれるようにする。
3	職員数	良さでもあるが、休むと他の職員の負担が増えてしまう、また利用児にお休みをお願いしないといけなくなる場合がある。	小グループで活動することにより、職員間でカバーしていく。